

令和4年度 春季企画展

鉄道模型で見る懐かしの鉄道輸送

— 貨物・荷物・郵便 —

令和4年

4月23日 **土曜**

から

6月19日 **日曜**

まで

※ 展示しています鉄道模型は、実際の車両と異なる部分があります。精密に再現されたものではないことをあらかじめご了承ください。

貨物

コム1 (コンテナ車)

ワラ1 (有蓋車)

レサ10000 (冷蔵車)

ヨ5000 (車掌車)

チキ5000形 (コンテナ車)

荷物

クモニ83 (荷物車)

スニ40 (荷物車)

カニ38 (荷物車)

郵便

スユニ60 (郵便荷物合造車)

オユ10 (郵便車 取扱便)

オユ12 (郵便車 護送便)



日本遺産 祈る皇女斎王のみやこ 斎宮
齋宮歴史博物館
Saikuhaku Historical Museum

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503
TEL 0596-52-3800 (代表)
FAX 0596-52-3724
e-mail saiku@pref.mie.lg.jp
Twitter https://twitter.com/mie_saikuhaku
URL https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/

【ご注意】
新型コロナウイルス感染の拡大状況によっては、
展示、イベントなどの内容変更や中止とする
可能性があります。

鉄道が陸上輸送の王者だった時代には、ほとんどのモノが鉄道で運ばれていました。

しかし、現在では、全国各地へさまざまなモノや郵便などを24時間、年中無休で運び続けた貨物列車や荷物列車などの雄姿をコンテナ貨物列車を除いて見ることはできません。

令和4年(2022)は、日本で初めて新橋横浜間で鉄道が開業した明治5年(1872)から数えて150周年にあたります。かつて日本経済や私たちの日常生活を支えた貨車、荷物車、郵便車を鉄道模型や実物資料などで紹介する展示です。

貨物

衣・食・住に必要なモノの多くは、何十両もの貨車を連ねた貨物列車で全国各地へと運ばれていました。使用される貨車は、積み荷に適した専用の貨車でした。



タキ 1000 (タンク車)



快速表示票



列車指定表示票



列車掛ワッペン



列車掛用携帯時刻表



ツム 1000 (通風車)



カ 3000 (家畜車)



ヨ 5000 (車掌車)

荷物

小荷物や手荷物、新聞、雑誌などを輸送するための車両が荷物車です。旅客列車に連結して、あるいは、荷物車だけで編成された専用の荷物列車として運転されました。



マニ 36 (荷物車)



マニ 30 (現金輸送車)



スハニ 35 (3等荷物合造車)



カニ 21 (電源荷物車)

郵便

全国の集配局
(郵便物の収集配達をする郵便局)
へ郵便物を輸送す

るために旅客列車や荷物列車に連結して運転されていました。郵便車は、国鉄の所有では無く、郵政省の所有でした。



郵便車 締切錠



郵袋

- 【開館時間】 9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
- 【休館日】 4月25日(月)
5月6日(金)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)
6月6日(月)、13日(月) ※5月2日(月)は開館します
- 【会場】 斎宮歴史博物館 特別展示室
- 【観覧料】 ※高校生以下無料
(個人) 一般 300円 大学生 240円
(団体) 一般 240円 大学生 190円
- 【主催】 斎宮歴史博物館
- 【共催】 物流博物館
- 【協力】 貨物鉄道博物館

学芸員による展示解説会

- 【日時】 4月30日(土)、5月7日(土)
13時30分から1時間程度
- 【会場】 斎宮歴史博物館 特別展示室
- 【参加方法】 事前申込不要
当日の企画展の観覧券が必要です

